

令和7年度上田記念財団奨学金の募集

標記奨学金の募集について案内します。

【提出先・提出期限】

提出先：学生課学生係窓口（学生課①窓口）

提出方法：各自申請書類を印刷し、必要書類とともに郵送または持参

提出期限：2025年3月21日（金）（厳守）

※必ず応募要件を確認したうえで書類提出してください。

【奨学金概要】

給付額：月額4万8千円（給付型：返還不要）

給付期間：採用された年度から最短修業年限の終期までの期間（実質2年間）

推薦人数：3名まで

【応募要件】

土木工学系の学生であること等、複数の要件があります。詳細は次頁以降の資料参照。

なお、添付資料「令和7年度 上田記念財団奨学金の概要」内の「【高専機構申請資格】2. 本科第4学年の家計基準」及び「3. 専攻科第1学年の家計基準」の①の要件について、令和7年度修学支援新制度（在学採用〔春〕）申請予定者及び令和7年度修学支援新制度給付奨学金（予約採用）決定候補者も対象に含まれます。

【提出書類】

1. 令和7年4月上田記念財団第16期高専奨学生願書 **※自署し、紙提出**
2. 作文
【テーマ「私が土木工学を学ぶ理由」】
700字以上、用紙2枚以内で作成 **※紙提出**

※推薦書は学生課から担任の先生に記載を依頼するため、提出不要。

【添付資料】

- ・ 令和7年4月度上田記念財団第16期高専奨学生募集要項
- ・ 令和7年度上田記念財団奨学金の概要
- ・ 令和7年4月上田記念財団第16期高専奨学生願書
- ・ 上田記念財団奨学金作文用紙（以下リンクから各自ダウンロードのうえ印刷して使用）
https://drive.google.com/drive/folders/1NsQ_irjayU6yULBhgVZ6t4eu_HoYJ-4M?usp=sharing

上田記念財団の奨学金

令和7年4月

国立高専 奨学金担当様 控

日程、選考
募集要項(人数省略)
記入要領
願書(書式)
推薦書様式
作文様式
提出書類チェックリスト

一般財団法人上田記念財団事務局

**令和7年4月度上田記念財団
第16期高専(本科・専攻科)奨学生 募集要項**

1. 奨学金支給の趣旨

当財団は、高専において土木工学を学び、自然公物の管理や社会基盤である資産の建設などに関わり、人の生活や生命を守ることにより社会貢献しようと志す学生を支援します。

2. 当財団奨学金について

- 1) 奨学金は給付とします。原則として返金を求めることはありません。
- 2) 当財団の奨学金の併給はできませんが、他団体等の奨学金との併給は問いません。
- 3) 本科生で奨学生であったものが専攻科進学時に再度奨学生として応募することも可能です。

3. 応募資格(令和7年4月1日現在)

- 1) 土木工学系の学生であること
- 2) 本科4年生または専攻科1年生に進学する者であること
- 3) 応募時の年齢が以下の範囲であること
 - ①本科4年生は年齢20歳未満の者
 - ②専攻科1年生は年齢22歳未満の者
- 4) 財団の奨学生行動基準を守ることができること

4. 募集する奨学生の審査要件

- 1) 将来、土木工学を活かした職業に就職する意志を持つ者であること。
(建設関係企業など。研究職や教職・公務員を含む)
- 2) 人物、学力ともに優れかつ健康である者
- 3) 経済的な援助を必要とする理由があること

5. 奨学金の金額および支給期間

- 1) 金額 月額 4万8千円
- 2) 支給日 3か月分ずつを毎指定月の15日に本人名義の口座に振り込みます。
- 3) 支給期間 原則として2年間としますが、退学・卒業などにより変動します。

6. 応募方法

- 1) 学校経由での応募となります。下記の書類をそろえて学校に提出してください。
- 2) 提出書類
 - ① 願書(写真要) ※願書は自署としてください。
 - ② 学校長の推薦書
 - ③ 成績証明書等履修結果・成績を証明するもの。
 - ④ 作文700字以上800字以内(テーマ指定)

作文のテーマは学校に送付していますので学校にお問い合わせください。

7. 提出締め切り

学校を経由しますので必ず学校への提出期限を確認し、締め切り日を守ってください。
なお、財団への提出期限は令和7年4月30日(水)となります。

8. 募集人数 省略(所属の高専に確認ください)

9. 選考結果については、5月中旬に学校を通じて通知します。

10. その他注意事項

- 1) 建築系を目指す方は、今回の募集の対象となりませんのでご注意ください。
- 2) 推薦書は学校長の作成文書(押印確認)としてください。
- 3) 応募書類は返却しません。当財団の規則により個人情報として適切に扱います。
- 4) 奨学生の就職時における就職先等進路の自由を制約するものではありません。
- 5) 奨学生には負担の無い範囲で財団の活動に協力してもらいます。
- 6) 2年目の確認時、在学証明書など所定の届出をしてもらいます。
- 7) 願書以外の申請書式(推薦書式、作文書式)は学校に送付していますので学校の担当部署にお問い合わせください。
- 8) 上田記念財団の「大学奨学金(学部3年生・大学院生)」に将来において応募することも可能です。
- 9) 上田記念財団の奨学生の行動基準 3の4)の補足
 - ①土木工学及び関係する諸学問を学び、それらを活かした職業に就くことを志す
 - ②学業や仕事に対して真摯に取り組み他の模範となる気概を持つ
 - ③学問の探求や技術の研鑽にたゆまざる努力を怠らない
 - ④身につけた自然科学の知見を人の生活の向上や幸福のために最大に活用する
- 10) なお、今年度から学費や諸物価の値上がりを考慮し、20%の増額を決定いたしました。

(メモ) 高専への提出期限

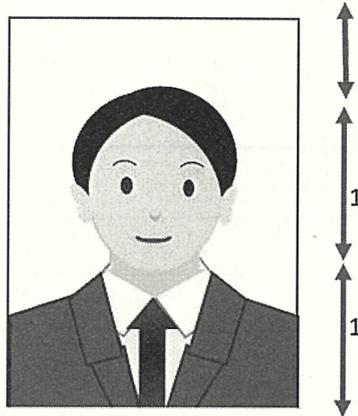
願書記入要領(高専生)

【筆記具】

黒のボールペンで自署で記入する。

【顔写真について】

正面から撮影、鮮明なもの。白黒、カラーを問わない。帽子は被らない。
撮影2か月以内。
横3.5センチ縦4.5センチに切って貼り付ける。
上部を少し開ける 顔と体の比は、1:1ぐらい。(下の図を参照)



【記入上の注意】

※願書左端の小数字の順に説明しています

- 1 願書の作成日付。
- 2 ひらがなで氏名の読み方を記入。男女いずれかをチェックする。
- 3 氏名を書く。
- 4 和暦で。記載日の年齢。
- 5、6 願書記入日現在の郵便番号、住所を記入。
- 7 携帯電話など、普段連絡できる電話番号。研究室の電話の場合は、研究室と記入。
- 8、9 下宿や寮、学校付近のアパートの場合、帰省先を記入。自宅通学の場合は(5、6)と同じ
- 10 帰省先(親家など)の電話番号を記入。
- 11 学校名、学科、専攻および学年を記入。
- 12 高校以上の学歴を記入。卒業見込み年月を記載。
- 13 同上
- 14~20 2親等以内の者を記入する。父母→兄弟姉妹、祖父母(、子、配偶者)
主たる生計者(記入者の家計を支えている者)に丸印を付す。
父母以外の主たる生計者の場合は3親等以上も(例えば叔父叔母など)記入する。
年収は、令和6年分(令和6年1月~令和6年12月)について記入する。
- 21~23 記入者の生活費について、一般的な月の主な収入と支出を記入する。
他の奨学金の受給については、返済要否を記入すること。
- 24 当奨学金を受給したい理由を簡潔に記載すること。箇条書きでもよい。
- 25 希望進路をチェックする。下段に進路について考えていることを記載。
- 26 当財団奨学金を受給していた場合は記入。ない場合はチェックのみ。
- 27 普段の健康度の状態を申告(自己申告)してください。
- 28 氏名を自署し、押印する。

令和 7 年度 上田記念財団奨学金の概要

(奨学金の概要)

この奨学金は、一般財団法人上田記念財団（以下「上田記念財団」という。）が国立高専本科 4 年生及び専攻科 1 年生の学生のうち土木工学を専攻する学生を対象として、最短修業年限の終期までの期間、所定の奨学金を給付するものです。

この奨学金の奨学生の選考については、上田記念財団からの要請により、国立高等専門学校機構が奨学生の候補者を選定し、上田記念財団に推薦することとなっています。

(奨学生候補者の募集内容)

- 奨学生の採用数 : 各高専 3 名まで
- 奨学金の給付額 : 月額 4 万 8 千円（年額 5 7 万 6 千円）
- 奨学金の給付時期 : 原則として 3 か月分ずつを年 4 回給付
- 奨学金の給付期間 : 採用された年度から最短修業年限の終期までの期間
- 特徴
 - (1) 奨学金は給付とし、原則として返金を求めることはありません。
 - (2) 奨学生の就職先等進路の自由を制約するものではありません。
 - (3) 他団体等の奨学金との併給は可能です。
 - (4) 本科第 4 学年で採用された者が専攻科へ進学する場合に、再度奨学生として応募することも可能です。
- 奨学生の義務
 - (1) 奨学生として採用された場合には、上田記念財団所定の誓約書及び振込先口座届を提出しなければなりません。
 - (2) 奨学生は、毎年度初めに在学証明書を提出する必要があります。
 - (3) 奨学生には財団の活動に協力してもらう場合があります。

(奨学生の申請資格)

本科第4学年及び専攻科第1学年のうち土木工学を専攻とする学生で、上田記念財団の募集要項に定める「応募資格」(以下1～5)及び高専機構が定める基準をすべて満たす方とします。

【上田記念財団奨学生応募資格】

1. 土木系の本科4年生または土木系専攻科1年生に在籍する者。
2. 4月1日時点で年齢が以下の範囲であること。
本科4年生：満20歳未満の者
専攻科1年生：満22歳未満の者
3. 将来、土木工学を活かした職業に就職する意志を持つ者であること。
4. 人物、学力とも優れ、かつ健康であって、財団の奨学金の給付にふさわしいと認められる者。
5. 経済的に援助を必要とする理由があること。

【高専機構申請資格】

1. 成績基準

申請前年度の学年末における学業成績が所属学科内の2分の1以上であること。4年次編入学生の場合は、前在籍校における在学時の成績又は入学試験成績が、入学者の2分の1以上であること又はそれと同等と認められること。

2. 本科第4学年の家計基準

- ①申請年度の大学等における修学の支援に関する法律に定める授業料減免を申請していること。
- ②申請前年度の就学支援金支給区分が「加算あり」であること。ただし、原級留置等により、前年度の就学支援金の支給対象外の者については、別途課税証明書等で「加算あり」相当であることを確認できること。

3. 専攻科第1学年の家計基準

- ①申請年度の大学等における修学の支援に関する法律に定める授業料減免を申請していること。
- ②申請する前年度の後期に、大学等における修学の支援に関する法律に定める授業料減免による支援を受けていること。

4. 留学生の家計基準

独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料、入学料及び寄宿料の免除及び徴収猶予に関する規則（規則第134号）第6条の全額又は半額基準に準拠したときに、免除対象となること。

（奨学生の申請及び選考結果の通知）

申請を志望する場合は、財団の奨学生募集要項に定める申請書類を、所属学校に提出してください。

奨学生の選考は上田記念財団が行い、選考結果を5月中旬に所属学校を経て申請者に通知する予定です。

（奨学金の打ち切り）

休学又は退学した等の場合、以降の奨学金の給付は打ち切りとなります。また、応募書類、報告書類、届出書類等に虚偽の申請があった場合は、遡及して奨学金の返金を求めることがあります。

令和7年4月 上田記念財団 第16期高専奨学生 願書

1	願書記入日	令和 年 月 日				以下、自署すること
2	ふりがな					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
3	申請者の氏名					
4	生年月日	平成 年 月 日 (満 才)				顔写真貼付 3.5cm×4.5cm カラー 正面无帽 鮮明なもの
5	現在の住所	郵便番号	-			
6						
7	連絡先電話番号	-	-			
8	帰省先の住所	郵便番号	-			
9						
10	帰省先電話番号	-	-			
11	所属高専/学科・専攻科/学年					
	学歴記入	卒業年月 (見込み)	学校名(高等学校以上から記載)			
12	学歴①	.				
13	学歴②	.				
	家族欄/続柄 生計主に○	年齢	氏 名	年収(万円)	同・別居	職業
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
	申請者の生活費	主な収入		主な支出		
21	生活費の状況 (月額)	家族の送金	円	家賃	円	
22		他の奨学金	円	通学費	円	
23		アルバイト、他	円	他()	円	
24	経済的支援を 必要とする理由					
25	今後の進路予定 (チェック)と抱負(下 段に記入)	<input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> コンサルタント <input type="checkbox"/> 道路会社 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 他()				
26	過去の上田記念財団の奨学金の受給の有無について	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有(年 月から 月)				
27	健康面の申告	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> その他()				
28	上記相違ありません	(自署) 氏名			印	